

LAP CMI シリーズ
進路指導ソフト **高校受験32** NET2015

進路指導処理の開始の仕方をナビゲートします

- 本ドキュメントは、初めて高校受験 32 を取り扱われる方が、戸惑いなく進路指導処理を開始できることを目的に作成されています。
- 本ドキュメントは、「通知表まるごと作成プロジェクト」の「名簿台帳一元化・共有」機能を使用することなく、名簿台帳を高校受験 32 で作成・管理するユーザー様を対象として作成しています。
- 本ドキュメントは、分かり易さを求めて、生徒名簿台帳を作成するまでの操作、および、Microsoft Excel のシートに用意されている高校関連データをコンバートの方法で高校受験 32 側に取り込むまでの操作を実際に行い、これを、処理画面を添えてレポートする方法で作成しています。

コンピュータソフト開発・販売
有限会社ラップエディックソフト

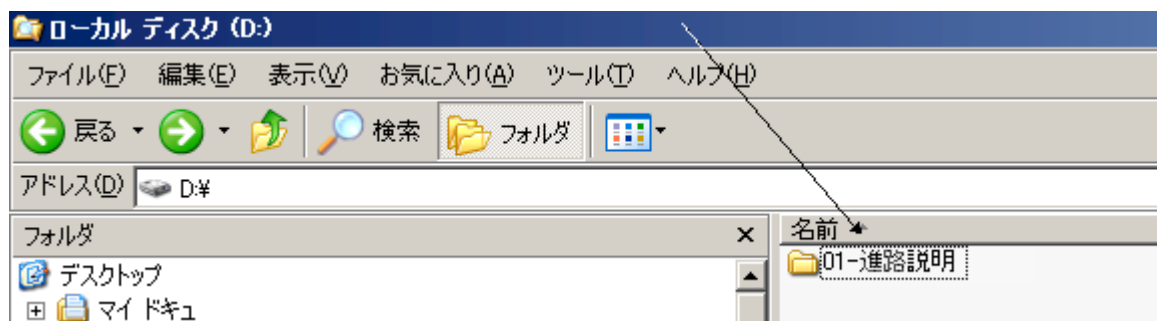
<http://www.laphouse.com/>

info@laphouse.com

〒985-0823 宮城県宮城郡七ヶ浜町遠山 2-6-1-101

(電話) 022-366-4405 (FAX) 022-362-8477

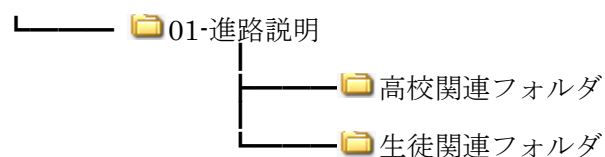
【操作手順－説明 1】 エクスプローラを起動し、ドライブ D に、下図のように、新規に「01-進路説明」の名称のフォルダを作成し、



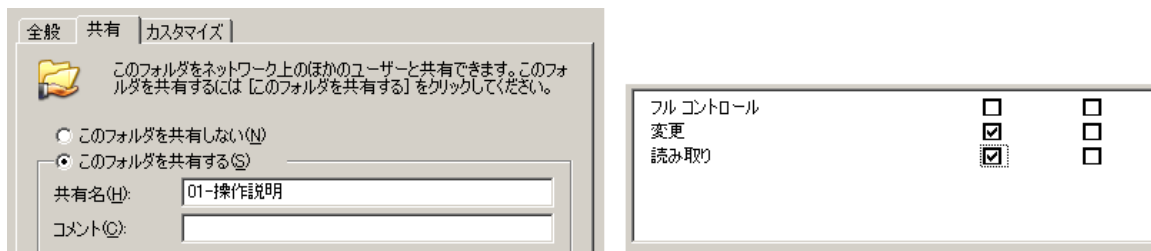
データ収録用の
フォルダ作成

この「01-進路説明」フォルダの中に、「高校受験 32」のデータの収録フォルダとして下図のように、「高校関連」フォルダと「生徒関連」フォルダを作成しました。

ドライブ D

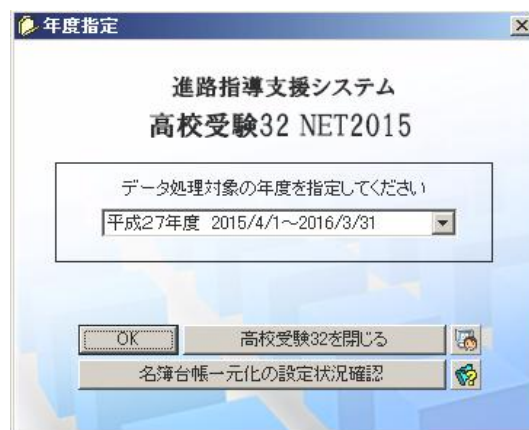


高校受験 32 を無制限ライセンスで運用されている方が、「ネットワーク対応機能・データの同時入力」機能を活用される場合は、「01-進路説明」フォルダを共有で設定し、読みと書き(変更)が共に可能であるように設定していただきます。

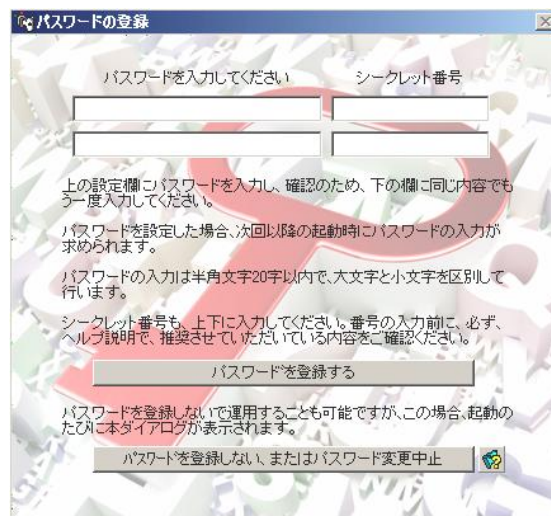


【操作手順—説明 2】 高校受験 32 を起動し、起動時の初期段階を、次の場面を経て通過しました。

- (1) 年度指定 「通知表まるごと作成プロジェクト」を所有しておらず、「名簿ステーション」機能を活用していない場合は、[OK]ボタンをクリックするだけの操作を行い、次の場面に移ります。



- (2) パスワード機能 高校受験 32 が不正に起動、操作、閲覧されることを防ぐために、特殊な暗号化処理で保全する機能です。

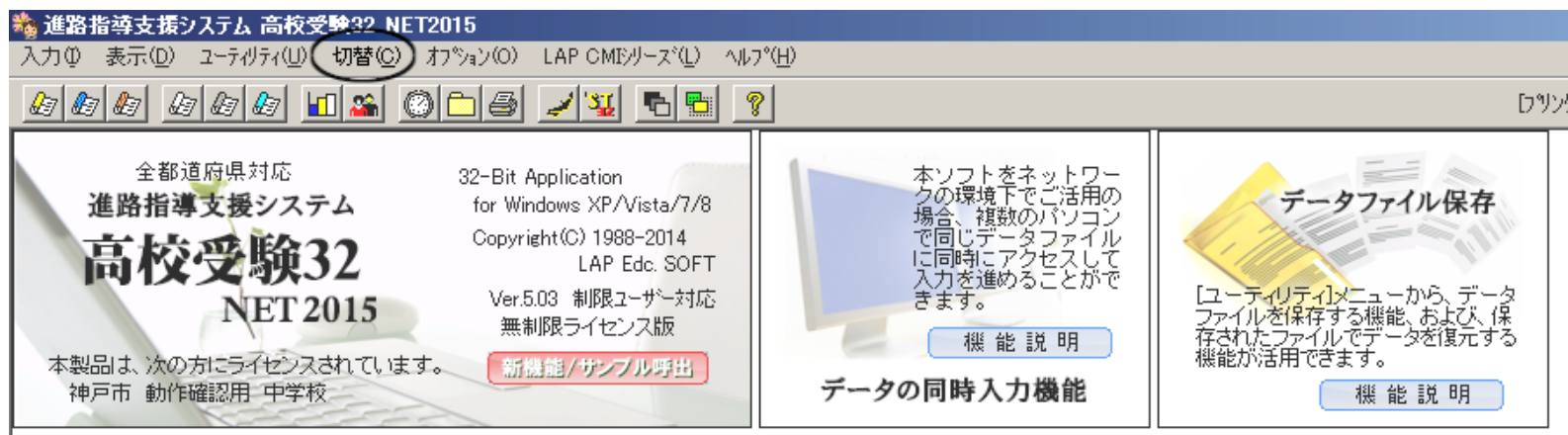


↑ パスワードを登録しない場合

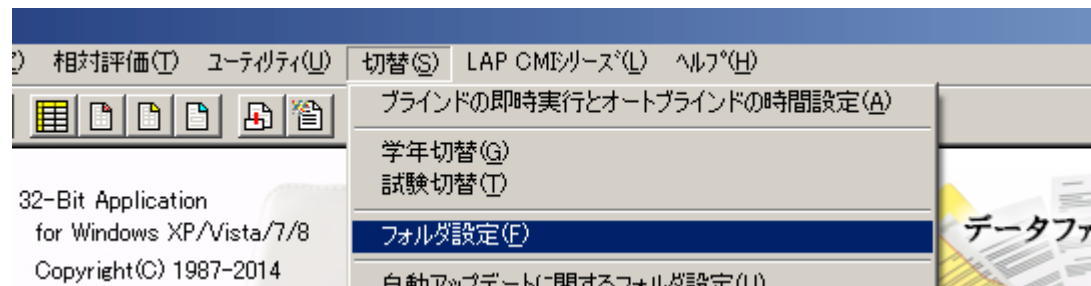


↑ パスワードを登録した場合

これにより、親ウィンドウが下図のように作成されますので、この場面から[切替]メニューをクリックしました。



[切替]メニューをクリックすることで、次のメニューが表示されますので、この中から「フォルダ設定」の項目を選択しました。



データ収録用の フォルダ設定

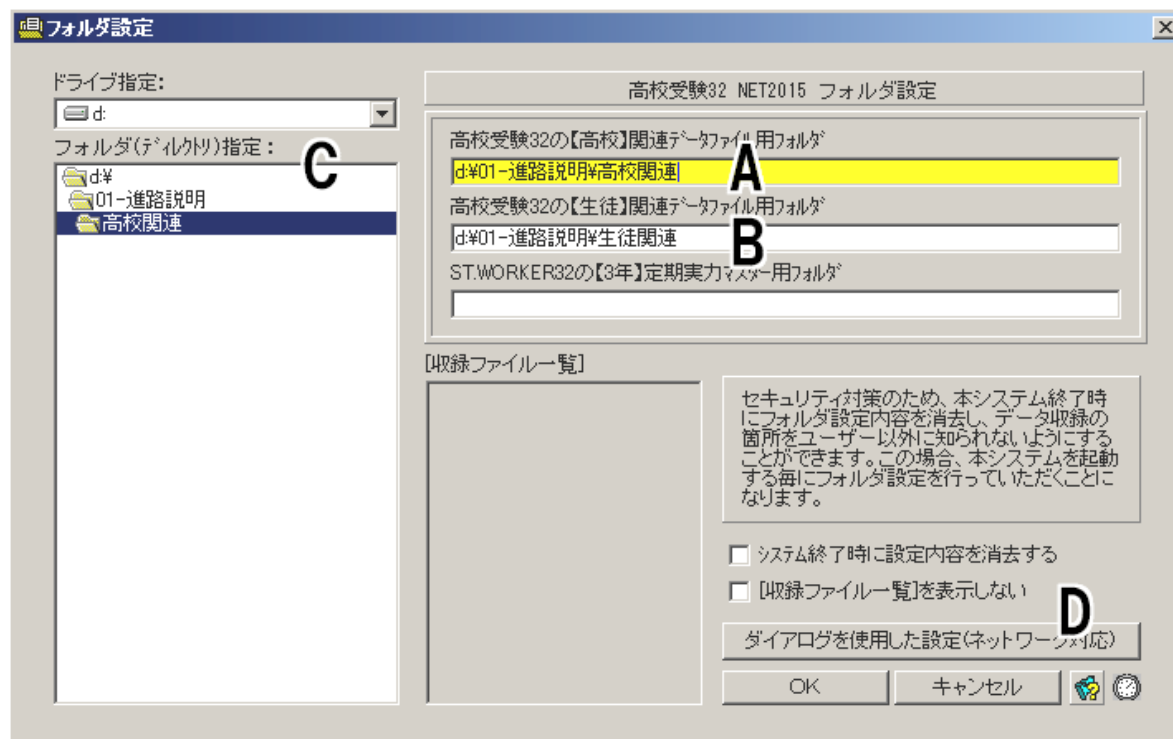
表示される下図の「フォルダ設定」のダイアログで、Aの箇所をクリックして背景を黄色にした上で、Cの設定領域を利用し、または、Dのボタンをクリックして、

(1) 高校関連データファイルを収録できるようにするために、

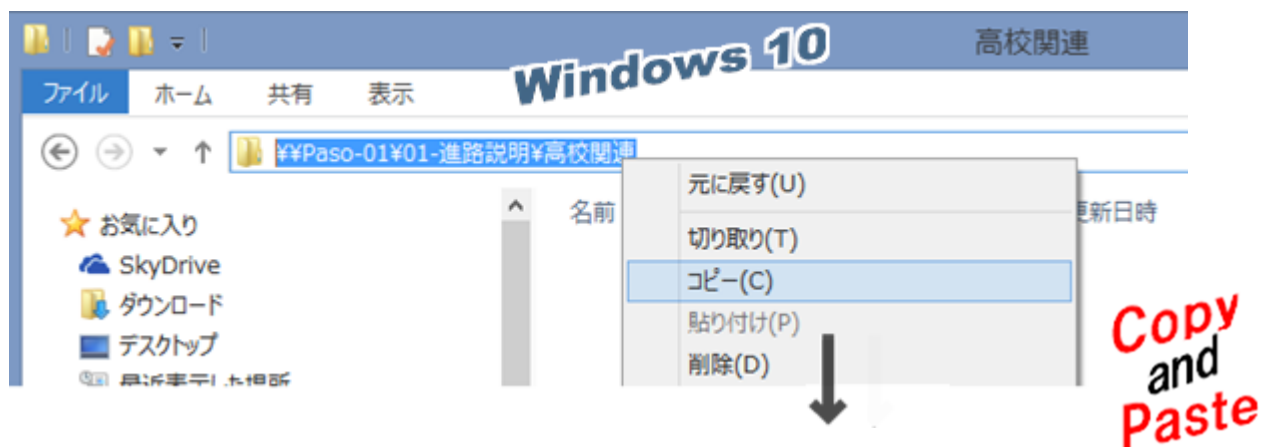
Aの箇所に、【操作手順-説明1】で作成したフォルダを当てがひ、「フォルダ設定」と称する作業を行いました。引き続き、Bの箇所をクリックして背景を黄色にした上で、Cの設定領域を利用し、または、Dのボタンをクリックして、

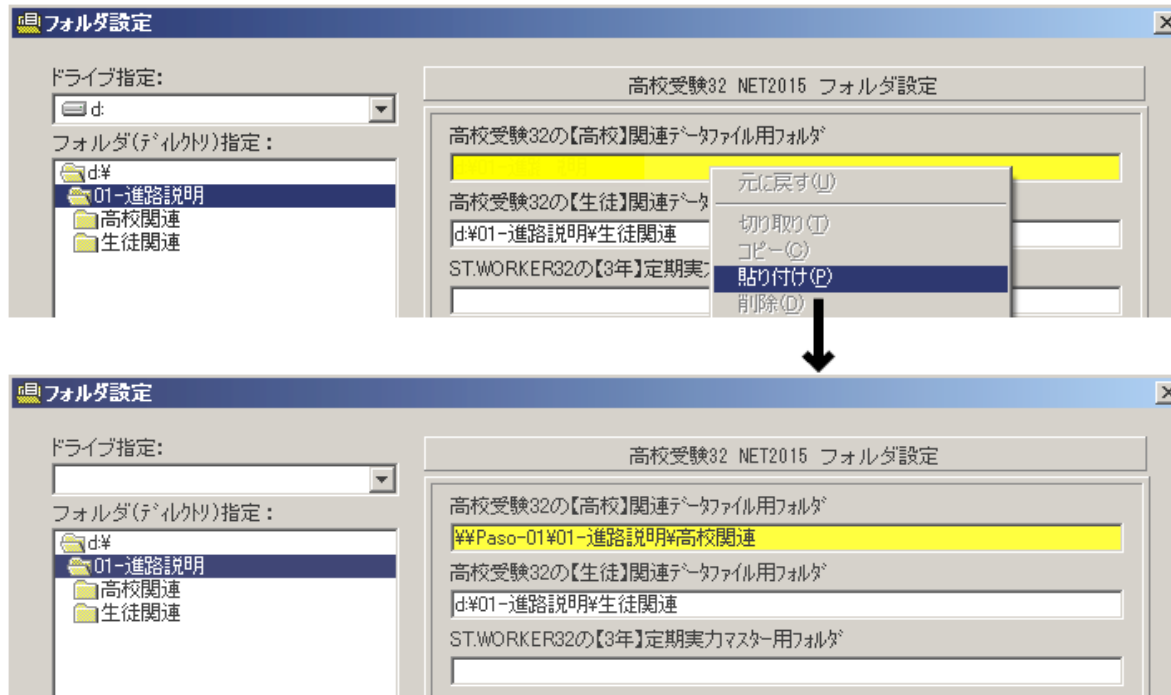
(2) 生徒関連データファイルを収録できるようにするために、

Bの箇所に【操作手順-説明1】で作成したフォルダを当てがひました。

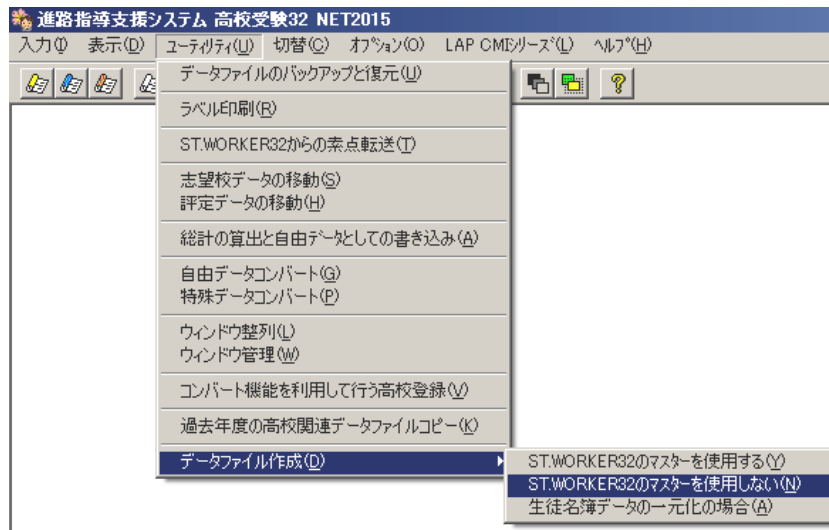


高校受験 32 を無制限ライセンスで運用されている方が、「ネットワーク対応機能・データの同時入力機能」を活用される場合は、D のボタンをクリックしてフォルダ設定を行うか、または、下図のように、予め掌握できるネットワークパス（例：¥¥Paso-01¥01-進路説明¥高校関連、¥¥Paso-01¥01-進路説明¥生徒関連）を直接、黄色を背景とする箇所に複写して設定を行います。



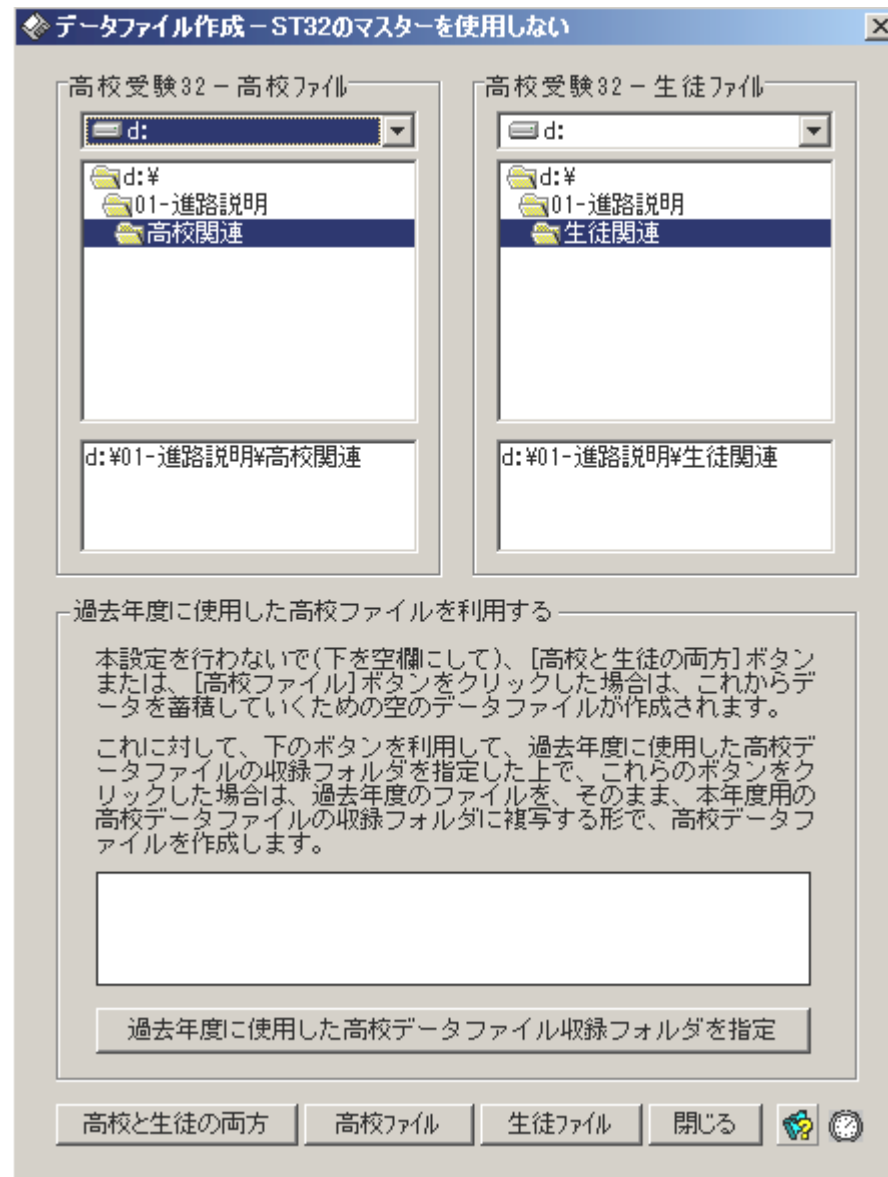


【操作手順—説明 3】 次に、「d:\¥01-進路説明¥高校関連」フォルダの中に高校に関するデータファイル、「d:\¥01-進路説明¥高校関連」フォルダの中に生徒に関するデータファイルを作ることになりますので、次のメニュー項目を選択して作成しました。



成績処理「ST.WORKER32」を活用されている場合は、「ST.WORKER32のマスターを使用する」のメニュー項目を選択してください。これにより、高校受験32の生徒名簿台帳が自動で作成されます。

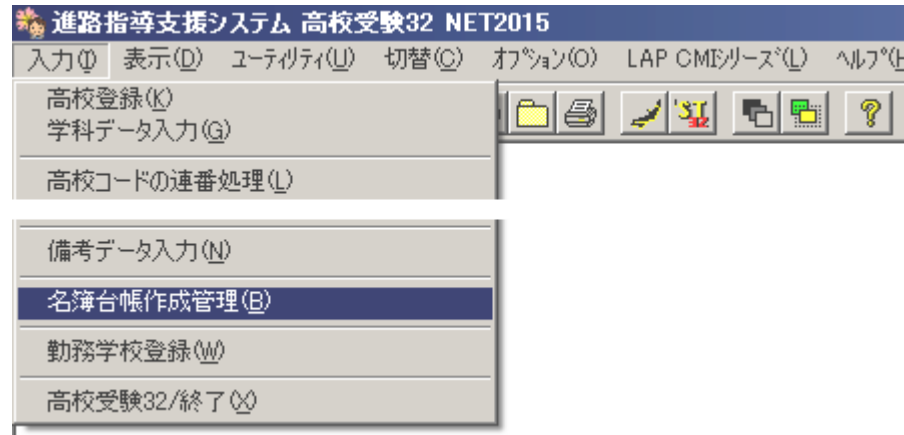
【操作手順－説明 2】で行ったフォルダ設定の内容が、下図のダイアログに反映されているのが確認できました。それぞれのフォルダの中に、高校、生徒に関するデータファイルが作成されますので、[高校と生徒の両方]ボタンをクリックします。



【操作手順—説明 4】 次に、生徒名簿台帳の作成に移ります。

生徒名簿台帳は、高校受験 32 に装備されている機能で作成できるほか、Microsoft Excel で既作成の台帳が存在している場合は、これを、高校受験 32 に装備されているコンバート機能を利用して高校受験 32 側に転用する方法で作成することもできます。

前者の場合は、次のメニュー項目を選択して表示されるウィンドウの、



下図で○で囲んだボタンをクリックして表示される活用マニュアルから、



下図の○で囲んだリンクをクリックして表示される説明を参考にして作業を進めることができます。

名簿台帳の作成と管理

TOP

生徒の新規登録や転入生の登録、転出生処理などについて説明しています。新規登録は、他のソフトで入力したデータをコンバートして行うこともできます。

- 入力して行う新規登録 転入生の登録
- コンバートによる新規登録
- 名簿台帳の表示と編集
- 読み仮名のコンバート
- 転出生処理と処理の解除
- 名簿台帳からの削除
- Microsoft Excelとクリップボードへのデータコピー

登録を行う前に

また、コンバート機能を利用した後者の場合の操作には、上と同じ活用マニュアルの、下図で○で囲んだリンクをクリックして表示される説明が有効です。

名簿台帳の作成と管理

TOP

生徒の新規登録や転入生の登録、転出生処理などについて説明しています。新規登録は、他のソフトで入力したデータをコンバートして行うこともできます。

- 入力して行う新規登録 転入生の登録
- コンバートによる新規登録
- 名簿台帳の表示と編集
- 読み仮名のコンバート
- 転出生処理と処理の解除
- 名簿台帳からの削除
- Microsoft Excelとクリップボードへのデータコピー

登録を行う前に

【操作手順—説明 5】 名簿台帳の作成が完了した時点で、高校受験 32 で、生徒関連のデータの読み書きを行うための、年度内に1回行っていただく処理・操作がすべて完了したことになります。

ここからは、高校受験 32 の製品コンテンツに含まれる「【参考資料】高校166データ.csv」ファイルを利用して、「コンバートによる高校登録」をどのように行うかをお伝えします。

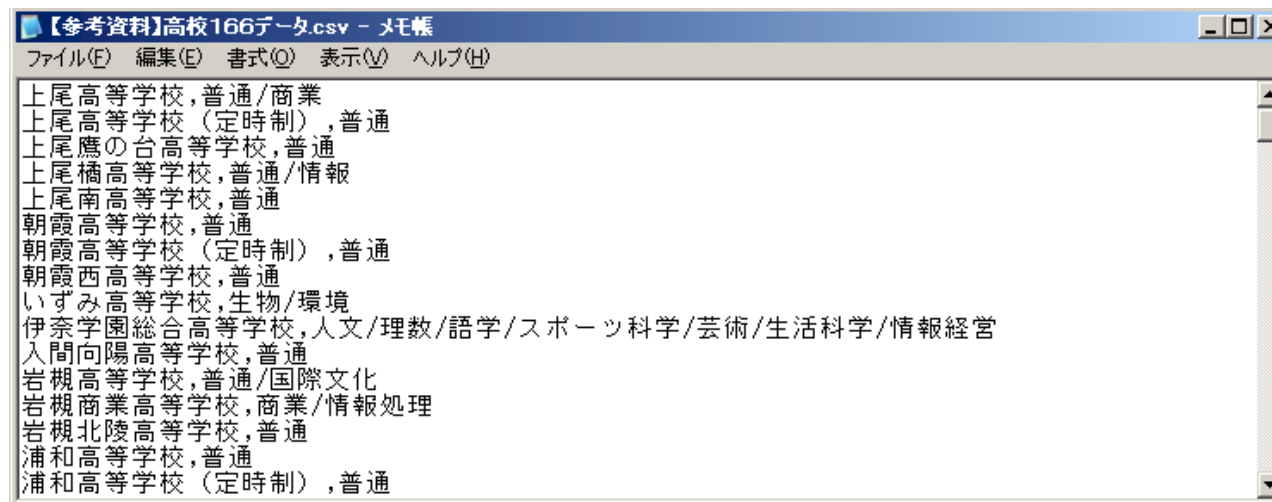
データ
コンバート

Microsoft Excel のシートの高校関連データをコンバートの方法で高校受験 32 側に取り込む方法

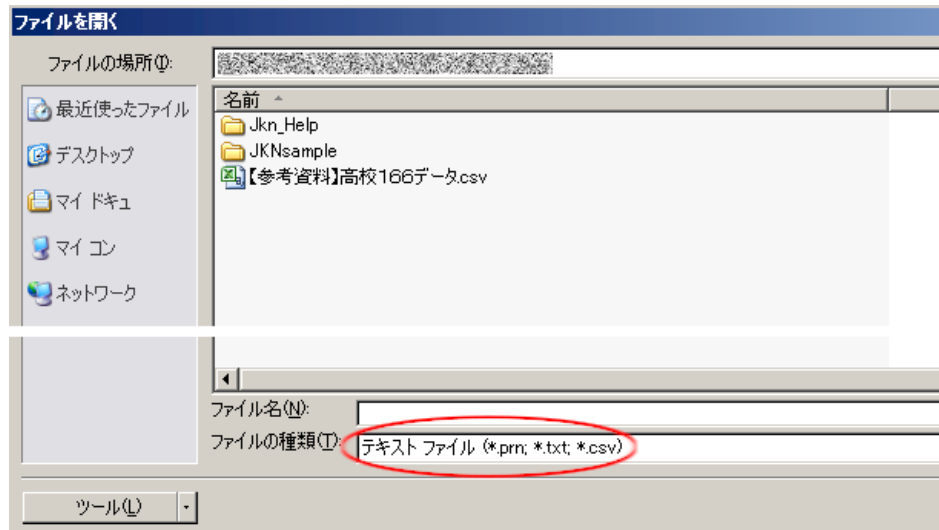
【操作手順－説明 6】 Windows のアクセサリ・グループに添付されている「メモ帳」(NotePad)で、[ファイル]メニューから「開く」を選択して「開く」ダイアログを呼び出し、「ファイルの種類」設定で「すべてのファイル」を選択して、製品 CD-ROM に収録されている「【参考資料】高校166データ.csv」を開きます。

このように、「メモ帳」で当ファイルを開いていただく目的は、どのように入力されたテキストデータなら Microsoft Excel で取り扱うことができ、「高校受験 32」でコンバートが可能となるかを掌握していただくためのものです。

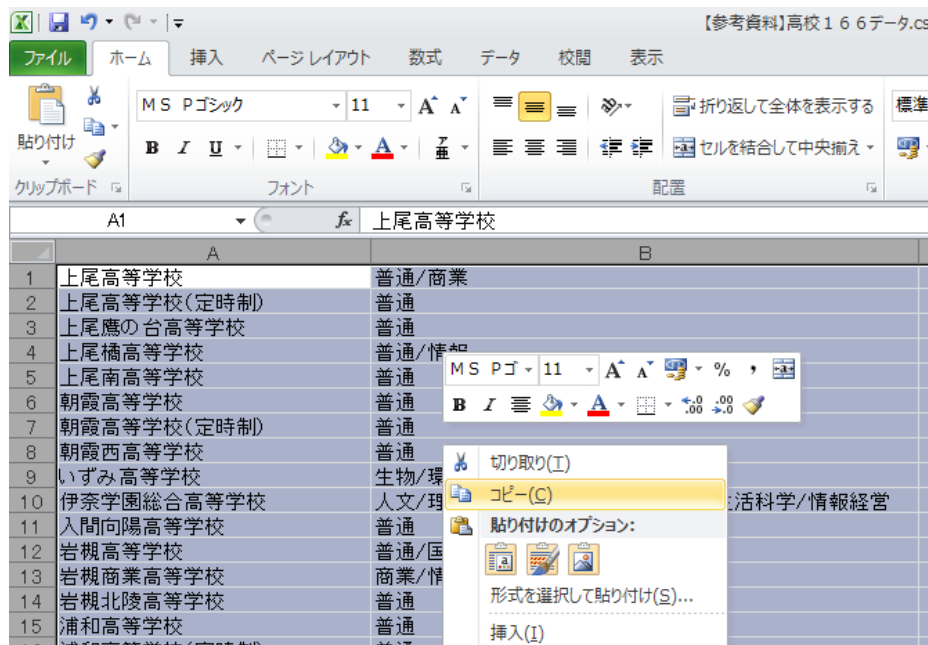
下図をご覧になり、「どのように入力されたテキストデータなら」が掌握可能でありましたら、上の操作は省略していただいて構いません。



【操作手順—説明 7】 Microsoft Excel で、製品 CD-ROM に収録されている「【参考資料】 高校 1 6 6 データ.csv」ファイルを読み込み、



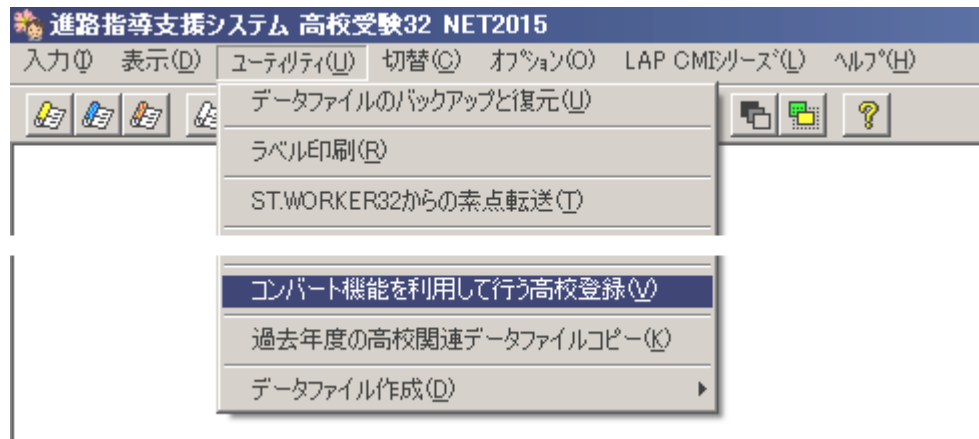
シート上のデータをすべて選択してコピーしました。



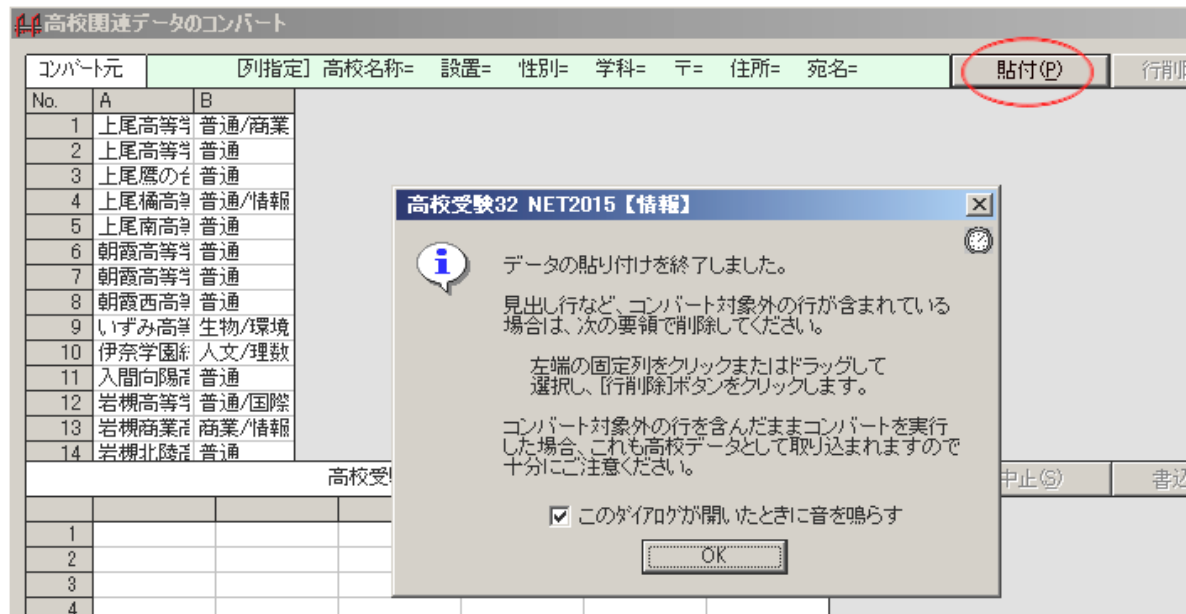
ただいま行っている「【参考資料】 高校 1 6 6 データ.csv」ファイルを使用した説明は、コンバートによる高校登録をどのように行うかをお伝えするためのものですので、最終段階において、データの書き込みは、絶対に行われたいようお願いします。

引き続き、「高校受験 32」の[ユーティリティ]メニューから、下図の項目を選択しました。

(注) 既に1つ以上の高校が登録されている時点においては、コンバートによる高校の登録は行えません。この場合は、[入力]メニューから「高校登録」のウィンドウを呼び出し、通常の登録方法を執っていただきます。



画面上部に設けられている[貼付]ボタンをクリックしました。これにより、下図のダイアログが表示されましたので、画面説明を読んだ上で、[OK]ボタンをクリックしました。



ウィンドウの右下に設けられている下図のヘルプボタンをクリックすることで、コンバートに関する詳しい説明をご覧いただけますので、是非、ご利用ください。



この場合のように、被コンバートデータが、高校名称と学科のみの場合は、コンバートが完了した後に、「高校登録」のウィンドウで、設置者区分や性別区分などの不足しているデータを補います。

コンバートのための作業は以上で終わりですので、右下の[OK]ボタンをクリックしました。

コンバート元	既定	高校名称	設置	性別	学科	〒	住所	宛名	貼付(F)	行削除(D)
No.	A	B								
20	浦和第一女子高等学校	普通								
21	浦和第一女子高等学校(定時)	普通								
22	浦和西高等学校	普通								
23	浦和東高等学校	普通								
24	大宮高等学校	普通/理数								
25	大宮工業高等学校	機械/電気/建築/電子機械								
26	大宮工業高等学校(定時制)	工業技術								
27	大宮光陵高等学校	普通/外国語/美術/音楽/書道								
28	大宮商業高等学校	商業								
29	大宮商業高等学校(定時制)	普通/商業								
30	大宮中央高等学校(定時制)	普通								
31	大宮東高等学校	普通/体育								
32	大宮南高等学校	普通								
33	大宮武蔵野高等学校	普通								

高校受験32 << 高校関連データ >> 中止(S) 書込(B)

【列内容の設定】 貼り付けたデータについての問い合わせです

高校名称などの列ですか	設置者区分などの列ですか	性別区分などの列ですか	学科などの列ですか	郵便番号などの列ですか	住所などの列ですか	宛名などの列ですか
A			B			

○列指定の前に、右のボタンをクリックしてヘルプ説明をご参照ください。

【外部入力データのデータ設定】 設置者、性別区分は、外部でどのように入力されていますか

公立校 →	私立校 →	女子校 →
共学校 →	男子校 →	

このパネルはドラッグして移動できます

○設定内容に合致しない場合は「その他」で登録されます。

OK

本来なら、

引き続き、画面上下の中央に位置する[書込]ボタンをクリックしてデータを保存し、ウィンドウを閉じました。

となるところですが、

ここまでは、コンバートによる高校登録をどのように行うかを説明するための操作でしたので、

ここでは、[書込]ボタンが有効になっている状態であっても、これをクリックしないで本ウィンドウを閉じていただきます。

以上で、コンバートに係わる作業は終了となります。